



今議会での質問項目は以下の通りです。質疑の内容については、右のQRコードから詳しくご覧いただけます。



人獣共通感染症・ワンヘルス

次なる新興感染症パンデミックを防ぐ！

人に感染症を引き起こす微生物は1400種類以上あり、このうちの約60%が人と動物双方に感染する「人獣共通感染症」を引き起こすとされています。新型コロナウイルス感染症をはじめ、新興感染症の約75%もそれにあたり、爆発的な大流行となりました。これらは人口増加や森林開発等による生態系の破壊や気候変動等による「人と動物との関係性の変化」により、もともと野生生物が持っていた病原体が様々なプロセスを

経て人にも感染するようになったとされています。人獣共通感染症のパンデミックを防ぐため、「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」と考えるワンヘルスの理念に基づく対応が世界的に広がっています。2020年12月福岡県は、全国初のワンヘルス推進基本条例を制定し、庁内横断的な体制整備が進められています。7月末に同県を視察調査し、千葉県でもワンヘルスアプローチによる体制を構築するよう求めました。

困難を抱える女性への支援

今年4月いわゆる「困難女性支援法」が施行。特に若年の*特定妊婦への支援は急務です。県内の特定妊婦の登録数は、例年200件を超えていますが、その数は氷山の一角ともいわれ、母子保健と児童福祉分野の狭間にあって必要な支援が届きづらい存在です。



7/23マザーズ・コンフォート「ぐるぐるカー」でアウトリーチ

福岡県は法制定に先立ち、県内3カ所で特定妊婦等に対する居住の場の提供、生活支援や養育の相談・助言、自立に向けた伴走型支援を主体的に行っています。

7月末福岡県・市の委託先を視察。千葉県内で女性支援を行っている「マザーズ・コンフォート」や富津にある「望みの門学園」女性自立支援施設も訪ね、民間の実践から学ぶことが重要だと感じました。千葉県でも「妊産婦等生活援助事業」を早期に実施すべきと質問したところ、「1施設での実施に向けて準備を進めていく」との答弁。今後の展開を注視していきます。

*特定妊婦：貧困状態、知的・精神的障害などで育児困難が予想される妊婦



左 7/24福岡県「こどもと女性包括支援センターここはる」 右 7/25福岡市「産前・産後母子支援センターここもティエ」



8/20望みの門学園女性自立支援施設

こどもホスピス

県の積極的な取組に期待



小児慢性特定疾病をもつ子どもは全国に約11万人。そのうち小児がんなど生命を脅かす状態にあるLTC (Life-Threatening Conditions)と言われる子どもの数は推定2万人とされていますが、その正確な人数は掴めていません。そのため、LTCの子どもたちの成長や発達を地域で支援する体制は十分とはいえず、家族が心理的に孤立してしまうことも課題となっています。

こどもホスピスは、従前の「緩和ケア」が持っていた「治療を諦め、死を受容する」というイメージから、「QOLの向上を目指し、豊かな生活を積極的に支える」という概念への転換が起きています。

2012年大阪市の病院内に初めて「こどもホスピス」が開設。その後、病気と闘う子どもたち

が安心して過ごせる環境をサポートする取り組みも各地で広がりを見せています。

県内では、一昨年に民間団体が「ちばこどもホスピスプロジェクト」を立ち上げ、こどもとその家族の交流と憩いのイベントやボランティア向けの研修会も開かれています。県の取組について質問したところ、「国の動きを注視し、関係団体や市町村等の意見を聞いて研究していく」との答弁。

国の来年度新規に進めようとしている「仮称こどもホスピス支援モデル事業」(全額国費)に県も手を挙げ、こどもホスピスの施策化が進むよう、早期の検討を強く求めました。

◆令和5年度病院事業決算見込み

- (1) 各病院における収益確保の取組状況と成果
- (2) 後期臨床研修医等、若手医師確保の取組について
- (3) 夜間救急体制と医師の働き方改革の影響

◆議案第1号補正予算

- (1) 勤務医の労働時間短縮に向けた環境改善体制事業について
- (2) 勤務環境改善医師派遣等推進事業について
- (3) 特別養護老人ホーム等における開設準備支援等事業について
- (4) 介護業務効率アップセンターの実績について

◆諸般の報告・その他

- (1) 株式会社恵(めぐみ)の障害者グループホームに係る不正行為等に対する特別監査について

まずは現場へ！

活動報告



7/20木更津市 オーガニックな街づくり有機農業・オーガニック給食について調査



7/20市原歴史博物館



7/24福岡市認知症フレンドリーセンター



7/25福岡市スタートアップ都市起業・創業支援拠点



7/25福岡県プレコンセプトケアセンター



7/30長崎原爆資料館



9/1千葉県中央博物館特別展「万祝(まいわい)博覧会～海をまとう」



7/29長崎県への会派視察(農業振興、県立大学、庁舎建替え、医療・介護)



9/1千葉県中央博物館特別展「万祝(まいわい)博覧会～海をまとう」

10/9 令和7年度予算制度要望 熊谷知事と手交



12月県議会の予定 開会11/15(金)～閉会12/11(水)

入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津 1621-8 (2階)
電話 /043-420-8758
fax /043-420-8759
mail/akiko.machi3@gmail.com

プロフィール

1965年 宮城県仙台市生まれ
1988年 国際基督教大学(ICU) 教養学部社会科学科卒業
2003年4月～ 佐倉市議会議員
2011年4月～ 千葉県議会議員

現在

千葉県議会議員 4期目
健康福祉常任委員会委員
会派「立憲民主党千葉県議会議員会」会長
立憲民主党千葉県連 副幹事長・組織委員長
連合千葉議員団会議所属
千葉県地方自治研究センター所属
千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
千葉県議会不登校児童生徒の教育機会確保・支援推進議員連盟
全国災害ボランティア議員連盟所属

いのちと暮らし、守り抜く

詳しくはこちらをご覧ください

入江あき子サイト <https://irieakiko.jp/>

